

〈中学校 英語 解説〉

設問 1

1 解説

趣旨

与えられた英文の題材から、短時間で必要な情報を引き出せるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

■評価の観点

外国語理解の能力〔読む能力〕

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
1	(1)	1	アと解答しているもの	◎
		2	イと解答しているもの	
		3	ウと解答しているもの	
		4	エと解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
		(2)	1	アと解答しているもの
	2		イと解答しているもの	
	3		ウと解答しているもの	◎
	4		エと解答しているもの	
	9		上記以外の解答	
	0		無解答	

■正答について

新しくできた動物園の宣伝ポスターから、必要な情報を読み取ることができるかどうかを問う問題である。開園時間の表から曜日と時間の情報を正しく読み取ることと、入園料金の表と、但し書きにある情報から、必要な入園料金を選ぶことが求められる。

「木曜日の午後は開園していないこと」「月曜日は休園日であること」から、「午後に来園できる曜日」は、月曜日と木曜日を含まないの、正答は選択肢アである。また、入園料金については、「ID カードを持参した際の中学生の入場料金」が7ドルであることから、正答は選択肢ウである。

## 2 学習指導に当たって

### ○ ポスターやチラシ等の様々な情報から、短時間で必要な情報を読み取る

ポスターやチラシ等は、様々な情報を、図表、グラフ、英文図表やグラフ等を用いて、効果的に伝えている。読み手として、自分にとって必要となる部分の情報を適切に引き出す必要がある。

具体的には、生徒の身近な生活場面を設定し、目的に応じて必要な時刻や場所、料金等の情報を短時間で引き出す学習を取り入れる。その際、どの部分から読み取ったのかを確かめておくことが大切である。

### 設問 2

#### 1 解説

##### 趣旨

与えられた英文の題材について、短時間で概要や要点を読み取れるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

#### ■評価の観点

外国語理解の能力〔読む能力〕

#### 解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
2	1	アと解答しているもの	◎
	2	イと解答しているもの	
	3	ウと解答しているもの	
	4	エと解答しているもの	
	9	上記以外の解答	
	0	無解答	

#### ■正答について

未習語を含むまとまった量の英文を読み取って、全体の概要を把握し、適切な「見出し」を選択肢から選ぶ必要がある。

「10人の中学生と2人の教師がケニアから来ること」「盆踊りを一緒に踊る予定であること」から、正答は選択肢アである。

## 2 学習指導に当たって

- ある程度の分量の英文について、短時間で全体の概要を捉え、内容に応じたタイトルを付ける

物語文や説明文等は文章としてある程度の長さがあり、まとまった内容を伝えようとするものである。タイトルを付けるためには、全体の概要を適切に捉えることが必要である。

例えば、物語文では、まとまりのある文章を最初から最後まで読み、ある語句や文の意味等、特定の部分にとらわれたりすることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじ等、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えることが大切である。説明文では、最初から最後まで読み、含まれている複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何かを判断することが大切である。

指導に当たっては、手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えることや、事前に内容を尋ねる質問をすること、設問の仕方を工夫すること等、的確に読み取らせるための配慮が必要である。

逐語的な読みから脱却し、英文を意味のかたまりとして捉える活動、個々の生徒のレベルに合った文章をたくさん読む活動、目的に合わせて英文を読む活動等を取り入れた授業が考えられる。

### 設問3

#### 1 解説

##### 趣旨

対話文の中の空所に当てはまる応答を前後の文脈から判断し、適切な英語を用いて表現できるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

##### ウ 読むこと

- (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

##### エ 書くこと

- (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

#### ■評価の観点

外国語理解の能力〔読む能力〕

外国語表現の能力〔書く能力〕

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
3	(正答の条件) 次の条件を満たして、解答している。 ① 空所に当てはまる応答を前後の文脈から判断し、適切な英文を書いている。 ② 主語と動詞を含んだ正しい英文で書いている。	

(1)	1	条件①②を満たしているもの (正答例) Can[May] I use your (red) pen? Do you have a red pen? Where is the red pen? など	◎
	2	条件②は満たしているが、①を満たしていないもの (解答例) Do you use my red pen? I have a red pen. Can you use a red pen? など	
	3	条件①は満たしているが、②を満たしていないもの (解答例) Red pen, please. など	
	9	上記以外の解答	
	0	無解答	
(2)	1	条件①②を満たしているもの (正答例) I'm going to watch a soccer game. I'll play soccer with my friends in a park. など	◎
	2	条件②は満たしているが、①を満たしていないもの (解答例) I'm going to see a movie with my friends. I'll go shopping with my sister. など	
	3	条件①は満たしているが、②を満たしていないもの Play soccer. Soccer. など	
	9	上記以外の解答	
	0	無解答	
(3)	1	条件①②を満たしているもの (正答例) I'll watch American movies. I'll listen to English songs. I'll talk with you more. I'll make some friends and talk with them. など	◎
	2	条件②を満たしているが、①を満たしていないもの (解答例) I'll go to America. I'll study English. I'll speak English. など	

3	条件①を満たしているが、②を満たしていないもの (解答例) Use English. Talk in English. Watch American movies. など	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

### ■ 正答について

- (1) 友達と英語クラブの部員募集ポスターを作成している場面である。文脈から赤いペンを使いたいが見当たらないという状況を読み取って、そのことを相手に伝える適切な表現を主語と動詞を含んだ正しい英文で解答する必要がある。
- (2) 友達と週末の予定について対話している場面である。対話の中で、Tom が “That’s right. I like soccer. Can I come?” と答えていることから、サッカーに関する予定を立てていることを読み取って、そのことを相手に伝える適切な表現を主語と動詞を含んだ正しい英文で解答する必要がある。
- (3) 休み時間にWhite先生とアメリカでの滞在に関する対話をしている場面である。「英語を上手に話すためにどんなことに取り組むつもりか。」というWhite先生の問いかけに対して、取り組もうと考えている具体的な内容を主語と動詞を含んだ正しい英文で解答する必要がある。

## 2 学習指導に当たって

- 「日常的な話題」や「関心のある事柄」等、自分に関する基本的な情報を簡単な語句や文を用いて正確に書く

「日常的な話題」や「関心のある事柄」について、事実や自分の考え、気持ち等を書く力を身に付けていくには、自分について相手に理解してほしい情報を簡単な語句や文を用いて書く活動を行うことが大切である。

具体的には、身の回りのこと（スポーツ、音楽、映画、テレビ番組、学校行事、休日の計画、日常の出来事等）で生徒の共通の話題となっていることについて、自己紹介を行ったり、学校や家庭での生活、休日の過ごし方について話したり、将来の夢について語ったりするなどの言語活動を行った後、簡単な語句や文を用いてその内容を書く活動に取り組むことが考えられる。

正確に書くためには、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成することや、伝えたいことについての情報を正確に捉え、整理したり確認したりしながら書くことが必要になる。そのためには、日頃から、自分の考えや気持ちをペアやグループで簡単な語句や文を用いて口頭で伝える活動をした後に、その内容を書いてまとめる、というように言語活動を設定することが大切である。

また、「書くこと」が苦手な生徒には、何をどのように書けばよいかを指導する必要がある。実際に書く活動を行う前には、手本となるような文を数多く提示し、その表現を活用したり一部の語を入れ替えたりしながら書き方を学ばせた上で、その後に自分の力で書くことができるようにするというように段階を踏んで指導することも大切である。さらに、英語の書き方の規則や語順を意識させるとともに、生徒一人一人をよく見取り、個の習熟度に応じて、ヒントを示したり自分が書いたものを修正させたりするなどの手立てを通して、徐々に正確に書けるように指導することが望まれる。

設問4

1 解説

趣旨

与えられたテーマに対して、限られた時間の中で自分の意見や考えを説得力をもって書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

エ 書くこと

(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

■評価の観点

外国語表現の能力〔書く能力〕

言語や文化についての知識・理解

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
4	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして、解答している。</p> <p>① 外国語表現の能力の観点から、次の a、b、c の条件に沿って書いている。</p> <p style="margin-left: 20px;">a テーマと関係がある</p> <p style="margin-left: 20px;">b それぞれの文につながりがある</p> <p style="margin-left: 20px;">c 同じ動詞や表現を不自然に繰り返していない</p> <p>② 言語文化についての知識・理解の観点から、理解が困難となるような語順、動詞、時制等の誤りがないこと。大文字・小文字や冠詞、複数形等意味を伝える上で支障をきたさない誤りについては、誤りとしめない。ただし、複数箇所に誤りがある場合は誤答とする。</p> <p>③ 5文以上で書いている。</p>	
1	<p>条件①②③を満たしているもの (正答例)</p> <p>I think Kanazawa city is a good place. It is not far from Toyama. I visited it[the city] with my friends last year. I went to <i>Omicho-ichiba</i>, the 21st century museum, and <i>Bukeyashiki</i>. My favorite was <i>Omicho-ichiba</i>. It is famous for fresh fish. Many people visit it. You can enjoy nice sushi.</p>	◎
2	<p>条件①が不十分であるが、②③を満たしているもの (解答例)</p> <p>I think Osaka city is nice. <u>Osaka is a nice city in Japan.</u></p>	

	I went there last year. I saw Osaka-jo. It is big and you'll be surprised. (不自然な繰り返し)	
3	条件②が不十分であるが、①③を満たしているもの (解答例) Osaka is a nice city. I <u>go</u> there with my friends last year. I saw Osaka-jo there. It is very big and I was surprised. I <u>take</u> some pictures. (時制)	
4	条件①②を満たしているが、③を満たしていないもの (解答例) Kyoto is famous for old buildings. I have visited there. My favorite is <i>Kiyomizudera</i> . It has a big stage. (4文)	
5	条件③を満たしているが、条件①②を満たしていないもの (解答例) Kyoto is an old city. <u>Kyoto is old buildings famous.</u> I like Kyoto very much. <u>My grand-parents live in Kyoto,</u> so I often visit them. (語順、つながり)	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

## ■ 正答について

アメリカの姉妹校からの訪問団の歓迎集会で、「日本のおすすめの場所」を紹介するスピーチを行うという場面設定を踏まえ、伝える相手を意識し、目的を踏まえた内容である必要がある。

条件には、自分がその場所をおすすめする理由を書くことが求められており、経験や知識を基にした理由が読み取れる内容を含める必要がある。また、文章全体として一貫性があり、まとまりのあるスピーチ原稿とする必要がある。

## 2 学習指導に当たって

### ○ 身近な事柄について、相手を意識し、経験や知識を基に自分の考えと理由を書く

身近な事柄について、自分の意見を書く力を身に付けていくには、伝える相手を意識し、状況設定を明確にした上で、自分の考えや気持ち等が伝わるように文章を書く活動を行うことが大切である。そのためには、授業における様々な場面を捉えて発信する課題を設定し、書く体験を積み上げていくことが重要である。特に、生徒が関心をもっている身近な話題や生徒の体験等と関連付けて扱うなどして、意欲的に書く機会を増やすよう工夫することが考えられる。

具体的には、季節の挨拶状、ホームステイ先への手紙、家族や親戚、友達等に自分の近況を伝える手紙、旅行先からの手紙や葉書、ファンレター等に加え、留守番電話等の伝言を聞いてその返事を電子メールで送ることや、関心のある話題について、新聞の投稿欄等に投稿すること等が考えられる。また、教科書の題材として扱われる環境問題や世界の貧困問題等について、教科書本文の内容理解をきっかけにし、意見文を書かせる課題を計画的に設けていくことも大切である。学校行事等の特別活動と関連させ、生徒が学校生活で体験した出来事を、ALTに伝える場を意識して設けていくことも有効である。1年生から、その時々状況設定で、繰り返し自分を紹介する英文を書かせていくことが、生徒にとって、使える語彙や表現を増やしていくことにつながる。定期考査等の出題においても、どんな相手に、どんな目的で、どのようなことを伝えるのか、生徒に明確に示

して書かせるようにしたい。

○ **身近な事柄について、簡単な語句や文を用いて、出来事等を説明するまとまりのある文章を書く**

「書いて伝える」ことに対する意欲を高め、求められている内容を適切にまとまりよく書くための工夫について指導する必要がある。

「まとまりのある文章を書く」とは、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書くことを示している。「導入－本論－結論」「主題－根拠や具体－主題の言い換えや要約」等、文章構成の特徴を意識しながら、全体として一貫性のある文章を書くことができるようにすることが重要である。さらに、出来事や事実を描写したり、考えや感想を述べたりする場合において、よりよく読み手に伝わるよう意識しながら、自分の言いたいことに最もふさわしい表現形式を工夫して書き表すことができるようにすることも必要である。

例えば、①テーマや話題に関する情報やキーワードを、順序を意識しながらメモする②そのメモを基に、簡単な語句や文を用いて書き表す③書き表したものを、ペアやグループになって聞いたり読んだりする④聞き手又は読み手は、その内容について質問したり、コメントを述べたりする⑤書き手は、やり取りした内容を参考に推敲する、などの段階的な指導が考えられる。「出来事等を説明するまとまりのある文章」を書くためには、キーワードを整理して書くことや、5W1Hを意識しながら全体の構成を考えて書くこと、文と文のつながりを示す語句を効果的に用いながら書くことができるように指導することが大切である。また、まとまりのある文章を書くことに慣れていない生徒には、直接対話し、書きたい内容を引き出しながら、書く活動への抵抗感を減らすなど、少しずつでも英語でその内容を表現したりできるよう支援していくように留意する必要がある。